

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公表番号】特表2000-506895(P2000-506895A)

【公表日】平成12年6月6日(2000.6.6)

【出願番号】特願平9-533600

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/03

A 6 1 P 1/12

A 6 1 P 31/12

A 6 1 K 31/055

A 6 1 K 31/065

A 6 1 K 31/4174

// C 0 7 D 233/56

【F I】

A 6 1 K 31/03

A 6 1 K 31/00 6 0 1 G

A 6 1 K 31/00 6 3 1 J

A 6 1 K 31/055

A 6 1 K 31/065

A 6 1 K 31/415 6 1 1

C 0 7 D 233/56

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月19日(2004.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年3月19日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第533600号

2. 補正をする者

住 所 アメリカ合衆国 マサチューセッツ州02115、ボストン、
シャタック ストリート 55

名 称 チルドレンズ メディカル センター コーポレーション

3. 代 理 人

住 所 東京都新宿区本塩町19番地 AOIビル
電話 (5366) 9961氏 名 弁理士(~~10284~~) 葛和 清司

4. 補正対象書類名 明細書及び請求の範囲

5. 補正対象項目名 明細書及び請求の範囲

6. 補正の内容

I. 請求の範囲 別紙のとおり

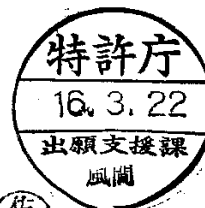
II. 明細書

1) 同、4頁1行及び6頁下から8行の「Xは(CH₂)_m」の記載を「X
は(CH₂)_m」と訂正する。

2) 同、6頁下から4行及び7頁6行の「“」の記載を「”」と訂正する。

3) 明細書の下記の頁(行)の「え」の記載を「へ」と訂正する(計22箇所)。

頁	行
11	12
15	12
17	6、18及び下から5
18	下から9
20	8、下から7、下から5及び下から2
22	10、12及び下から4
23	末

方 式
審 査

頁	行
24	7及び15
25	5及び末
26	下から13、下から10及び下から8
27	下から6

4) 同、下記の頁(行)の「坦体」の記載を「担体」と訂正する(計13箇所)。

頁	行
11	下から9
12	8、11、13、15及び下から7
13	下から7及び下から6(2箇所)
14	12
28	3、5及び下から12

5) 同、13頁下から9行の「あらえられ」の記載を「与えられ」と訂正する。

6) 同、13頁下から3行の「をを」の記載を「を」と訂正する。

7) 同、15頁12行の「cGMP」の記載を「cGMP」と訂正する。

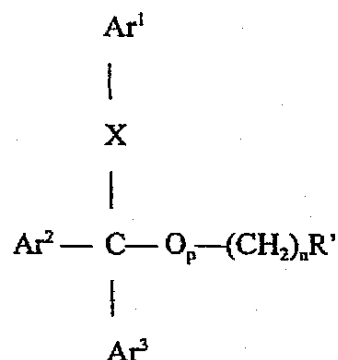
8) 同、28頁3行の「マウッス」の記載を「マウス」と訂正する。

以 上

別紙

請求の範囲

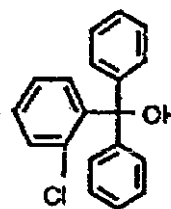
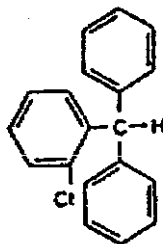
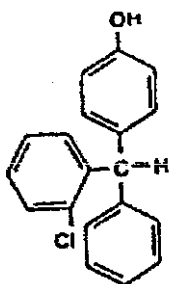
1. 下痢治療のための薬剤の製造における芳香族化合物の使用であって、該芳香族化合物が一般式：



式中、 $n=0-3$ 、 $p=0$ または 1 、 X は $(\text{CH}_2)_m$ ($m=0, 1, 2$ または 3)、 $\text{CH}=\text{CH}$ 、 $\text{C}\equiv\text{C}$ 、 SCH_2 、 OCH_2 および NOCH_2 からなる群から選ばれ、 R' は H 、 OH 、 SH 、 NO_2 、 CN 、 CHO 、 ONH_2 、 COH 、 COR'' 、 CO_2H 、 $\text{CO}_2\text{R}''$ 、 OR'' 、 SR'' 、 $\text{NR}''\text{R}''$ 、 $\text{CONR}''\text{R}''$ 、ヘテロアリールおよび CONR'' (OCH_3) からなる群から選ばれ、 Ar^1 はフェニル、置換フェニルおよびヘテロアリールからなる群から選ばれ、 Ar^2 はフェニルおよび置換フェニルからなる群から選ばれ、 Ar^3 はフェニル、置換フェニル、ビフェニル、ビベンジルおよびナフチルからなる群から選ばれ、フェニル置換基は Cl 、 F 、 Br 、 I 、 R 、 OR'' 、 SR'' 、 NO_2 、 CN 、 CF_3 、 $\text{NR}''\text{R}''$ および $\text{C}_2\text{O}_2\text{R}$ からなる群から選ばれ、 R は C_Z ($Z=1-5$) の直鎖アルキル、 C_Z ($Z=1-5$) の置換直鎖アルキル、 C_Z ($Z=1-5$) の分枝アルキルおよび C_Z ($Z=1-5$) の置換分枝アルキルからなる群から選ばれ、アルキル置換基は Cl 、 Br 、 F 、 I 、 OH 、 OCH_3 、 SH 、 SCH_3 、 NH_2 、 NHCH_3 および $\text{N}(\text{CH}_3)_2$ からなる群から選ばれ、 R'' は水素原子および R からなる群から選ばれる、を有する、前記使用。

2. 芳香族化合物がクロトリマゾールである、請求項1に記載の使用。

3. 芳香族化合物が、



からなる群から選択される、請求項 1 に記載の使用。

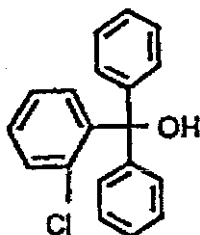
4. 芳香族化合物が経口的に投与される、請求項 1 に記載の使用。

5. 対象がヒトである、請求項 1 に記載の使用。

6. 対象に抗下痢剤を投与することをさらに含む、請求項 5 に記載の使用。

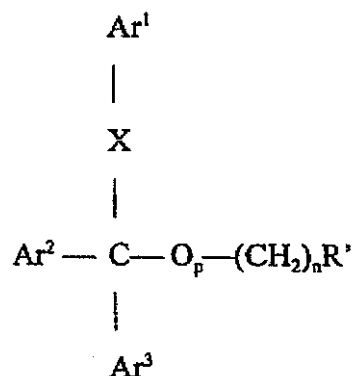
7. 抗下痢剤が経口再水和液である、請求項 6 に記載の使用。

8. 芳香族化合物が 2-クロロフェニルビスフェニルメタノールであり、
次式：



を有する、請求項 1 に記載の使用。

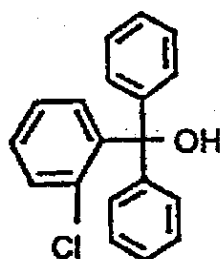
9. 対象の感染性下痢を抑制するために有効な量の芳香族化合物および抗感染性下痢剤を含む獣医製剤であって、該芳香族化合物が一般式：



式中、 $n=0-3$ 、 $p=0$ または 1 、 X は $(\text{CH}_2)_m$ ($m=0, 1, 2$ または 3)、 $\text{CH}=\text{C}$ 、 H 、 $\text{C}\equiv\text{C}$ 、 SCH_2 、 OCH_2 および NOCH_2 からなる群から選ばれ、 R' は H 、 OH 、 SH 、 NO_2 、 CN 、 CHO 、 ONH_2 、 COH 、 COR'' 、 CO_2H 、 $\text{CO}_2\text{R}''$ 、 OR'' 、 SR'' 、 $\text{NR}''\text{R}''$ 、 $\text{CONR}''\text{R}''$ 、ヘテロアリールおよび CONR'' (OCH_3) からなる群から選ばれ、 Ar^1 はフェニル、置換フェニルおよびヘテロアリールからなる群から選ばれ、 Ar^2 はフェニルおよび置換フェニルからなる群から選ばれ、 Ar^3 はフェニル、置換フェニル、ビフェニル、ビベンジルおよびナフチルからなる群から選ばれ、フェニル置換基は Cl 、 F 、 Br 、 I 、 R 、 OR'' 、 SR'' 、 NO_2 、 CN 、 CF_3 、 $\text{NR}''\text{R}''$ および CO_2R からなる群から選ばれ、 R は C_Z ($z=1-5$) の直鎖アルキル、 C_Z ($z=1-5$) の置換直鎖アルキル、 C_Z ($z=1-5$) の分枝アルキルおよび C_Z ($z=1-5$) の置換分枝アルキルからなる群から選ばれ、アルキル置換基は Cl 、 Br 、 F 、 I 、 OH 、 OCH_3 、 SH 、 SCH_3 、 NH_2 、 NHCH_3 および $\text{N}(\text{CH}_3)_2$ からなる群から選ばれ、 R'' は水素原子および R からなる群から選ばれる、を有する、前記獣医製剤。

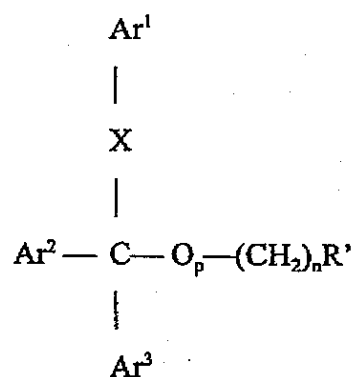
10. 芳香族化合物がクロトリマゾールである、請求項9に記載の獣医製剤。
11. 抗感染性下痢剤が初乳抽出物である、請求項9に記載の獣医製剤。
12. 抗感染性下痢剤が初乳の免疫製剤である、請求項9に記載の獣医製剤。

13. 抗感染性下痢剤が微生物特異的免疫製剤である、請求項9に記載の獣医製剤。
14. 抗感染性下痢剤が経口再水和液である、請求項9に記載の獣医製剤。
15. 抗感染性下痢剤が置換電解質組成物である、請求項9に記載の獣医製剤。
16. 抗感染性下痢剤が抗生物質組成物である、請求項9に記載の獣医製剤。
17. 獣医製剤が乾燥製剤である、請求項9に記載の獣医製剤。
18. 芳香族化合物が2-クロロフェニルビスフェニルメタノールであり、次式：



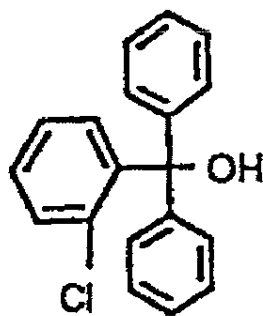
を有する、請求項9に記載の獣医製剤。

19. 下痢を抑制するために有効な量の芳香族化合物および抗下痢剤を含む医薬製剤であって、該芳香族化合物が一般式：



式中、 $n=0-3$ 、 $p=0$ または 1 、 X は $(CH_2)_m$ ($m=0, 1, 2$ または 3)、 $CH=CH$ 、 $C\equiv C$ 、 SCH_2 、 OCH_2 および $NOCH_2$ からなる群から選ばれ、 R' は H 、 OH 、 SH 、 NO_2 、 CN 、 CHO 、 ONH_2 、 COH 、 COR'' 、 CO_2H 、 CO_2R'' 、 OR'' 、 SR'' 、 $NR''R''$ 、 $CONR''R''$ 、ヘテロアリールおよび $CONR''$ (OCH_3) からなる群から選ばれ、 Ar^1 はフェニル、置換フェニルおよびヘテロアリールからなる群から選ばれ、 Ar^2 はフェニルおよび置換フェニルからなる群から選ばれ、 Ar^3 はフェニル、置換フェニル、ビフェニル、ビベンジルおよびナフチルからなる群から選ばれ、フェニル置換基は Cl 、 F 、 Br 、 I 、 R 、 OR'' 、 SR'' 、 NO_2 、 CN 、 CF_3 、 $NR''R''$ および CO_2R からなる群から選ばれ、 R は C_Z ($z=1-5$) の直鎖アルキル、 C_Z ($z=1-5$) の置換直鎖アルキル、 C_Z ($z=1-5$) の分枝アルキルおよび C_Z ($z=1-5$) の置換分枝アルキルからなる群から選ばれ、アルキル置換基は Cl 、 Br 、 F 、 I 、 OH 、 OCH_3 、 SH 、 SCH_3 、 NH_2 、 $NHCH_3$ および $N(CH_3)_2$ からなる群から選ばれ、 R'' は水素原子および R からなる群から選ばれる、を有する、前記医薬製剤。

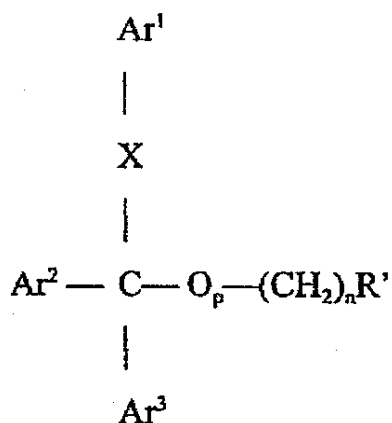
20. 芳香族化合物が2-クロロフェニル-ビス-フェニル メタノールであり、次式：



を有する、請求項19に記載の医薬製剤。

21. 芳香族化合物がクロトリマゾールである、請求項19に記載の医薬製剤。

22. 抗下痢剤が経口再水和液である、請求項19に記載の医薬製剤。
23. 抗下痢剤が抗生物質である、請求項19に記載の医薬製剤。
24. 抗下痢剤が電解質組成物である、請求項19に記載の医薬製剤。
25. 抗下痢剤が牛初乳からの免疫製剤である、請求項19に記載の医薬製剤。
26. 抗下痢剤が経口糖-電解質溶液である、請求項19に記載の医薬製剤。
27. 下痢の治療のための薬剤の製造における芳香族化合物の使用であって、該芳香族化合物がミコナゾールおよびエコナゾールからなる群から選択される、前記使用。
28. 感染性下痢を治療するための方法であって、そのような治療の必要な対象に、感染性下痢を抑制するために有効な量の芳香族化合物を投与する段階を含み、該芳香族化合物がミコナゾールおよびエコナゾールからなる群から選択される、前記方法。
29. 感染性下痢の治療方法であって、そのような治療の必要な対象に、感染性下痢を抑制するために有効な量の芳香族化合物を投与する段階を含み、該芳香族化合物が一般式：

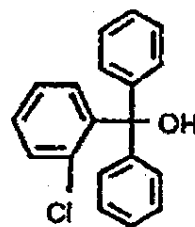
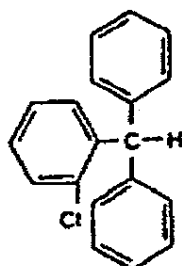
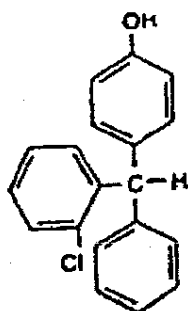


式中、 $n=0-3$ 、 $p=0$ または1、Xは $(\text{CH}_2)_m$ ($m=0, 1, 2$ または3)、 $\text{CH}=\text{CH}$ 、 $\text{C}\equiv\text{C}$ 、 SCH_2 、 OCH_2 および NOCH_2 からなる群から選ばれ、 R' はH、OH、SH、 NO_2 、CN、CHO、 ONH_2 、COH、COR''、 CO_2H 、

CO₂R^{''}、OR^{''}、SR^{''}、NR^{''}R^{''}、CONR^{''}R^{''}、ヘテロアリールおよびCONR^{''}(OCH₃)からなる群から選ばれ、Ar¹はフェニル、置換フェニルおよびヘテロアリールからなる群から選ばれ、Ar²はフェニルおよび置換フェニルからなる群から選ばれ、Ar³はフェニル、置換フェニル、ビフェニル、ビベンジルおよびナフチルからなる群から選ばれ、フェニル置換基はCl、F、Br、I、R、OR^{''}、SR^{''}、NO₂、CN、CF₃、NR^{''}R^{''}およびCO₂Rからなる群から選ばれ、RはC_Z(z=1-5)の直鎖アルキル、C_Z(z=1-5)の置換直鎖アルキル、C_Z(z=1-5)の分枝アルキルおよびC_Z(z=1-5)の置換分枝アルキルからなる群から選ばれ、アルキル置換基はCl、Br、F、I、OH、OCH₃、SH、SCH₃、NH₂、NHCH₃およびN(CH₃)₂からなる群から選ばれ、R^{''}は水素原子およびRからなる群から選ばれる段階を有する、前記方法。

30. 芳香族化合物がクロトリマゾールである、請求項29に記載の感染性下痢の治療方法。

31. 芳香族化合物が、



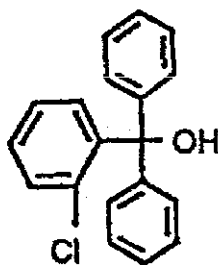
からなる群から選択される、請求項29に記載の感染性下痢の治療方法。

32. 芳香族化合物が経口的に投与される、請求項29に記載の感染性下痢の治療方法。

33. 対象が馬、牛、ブタおよび山羊からなる群から選ばれる、請求項29に記載の感染性下痢の治療方法。

34. 対象に抗感染性下痢剤を投与することをさらに含む、請求項29に記載の感染性下痢の治療方法。

35. 芳香族化合物が2-クロロフェニル-ビス-フェニル-メタノールであり、次式：



を有する、請求項29に記載の感染性下痢の治療方法。